

Logitec

ファイルリカバリーツール for FD

ユーザースマニュアル

目次

ロジテックソフトウェア使用権許諾契約書	2
第 1 章 ユーティリティの概要	4
第 2 章 使用方法について	5
2 . 1 Logitec ファイルリカバリーツール for FD の起動方法	5
2 . 2 削除してしまったファイルを復元する方法	6
2 . 3 ディスクに保存されている全てのファイルを 別のフォルダに保存する方法	9
2 . 4 エントリサーチについて	11
第 3 章 アンインストール	12
お問い合わせについて	14



ご使用の前に必ずお読みください。

ロジテックソフトウェア使用権許諾契約書

本契約は弊社とお客様との間で締結されるものです。添付ソフトウェアプログラムのインストールを開始する前に、本契約書をよくお読みください。

本契約に関して疑義がある場合、もしくは弊社にご連絡を取りたい場合は、以下にご連絡ください。

〒 396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268 ロジテック株式会社 テクニカルサポート
弊社テクニカルサポート連絡先(ナビダイヤル)

TEL. 0570-022-022

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 18:00

FAX. 0570-033-034

月曜日～金曜日(祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く)

携帯電話(FAX)、PHS(TEL、FAX共)、IP電話(TEL、FAX共)、ひかり(光)電話はご利用になれません。

1. 使用許諾

- (1) 弊社は、添付ソフトウェアプログラム(以下「本ソフトウェア」といいます)を、本ソフトウェアとともに提供されるハードウェア(本ソフトウェアがキットに添付される場合にはキットが組み合わされるハードウェア)において使用できる使用権をお客様に許諾します。
- (2) お客様は、本ソフトウェアを一時に一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。ネットワークシステムの場合は、一時に一台の端末でのみ使用することができます。

2. 著作権

- (1) お客様は本ソフトウェアをその他の著作物と同様に取り扱っていただく必要があります。ただし、バックアップ目的にのみ本ソフトウェアを複製すること、またはオリジナルを保存用のみに保持して本ソフトウェアをハードディスクに組み込むことができます。
- (2) お客様は、本ソフトウェアとともに提供された取扱説明書等の印刷物を複製しないものとします。

3. 規制

- (1) お客様は、本ソフトウェアを貸与したり、リースに供することはできないものとします。ただし、お客様は本ソフトウェアとその関連資料の複製物を保有していないこと、および受領者が本契約の条件に合意していることを前提に、本ソフトウェアおよびその関連印刷物を第三者に譲渡することができます。その場合、お客様は本ソフトウェアとともに提供されたハードウェアを同時に当該第三者に譲渡するものとします。
- (2) お客様は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルをしてはならないものとします。
- (3) お客様は、本ソフトウェアのコピーを分配したり、ネットワークシステム内の1台の端末から他へ電送してはならないものとします。
- (4) お客様は、本ソフトウェアを日本国外に持ち出し使用することをしてはならないものとします。

4. 保証

弊社は本ソフトウェアに関して以下の保証のみを行いません。なお、この保証は日本国内のみにて有効なものとしします。

- (1) お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から1年以内に弊社が本ソフトウェアの誤りの修正を行なったときは、弊社はその修正内容をお客様に提供するものとしします。ただし、弊社がその裁量により情報の提供を決定した場合に限りします。
- (2) 本ソフトウェアの記録媒体に、本ソフトウェアの使用に支障を来たすような物理的欠陥があった場合には、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から30日以内にご連絡をいただければ、弊社は当該記録媒体を無償で交換（ただし、弊社が当該欠陥を弊社の責任によるものと認めた場合に限りします。）するものとしします。これをもって記録媒体に関して弊社が行なう唯一の保証としします。

5. 免責

- (1) 弊社は本ソフトウェアを運用した結果に関していかなる保証も行いません。本ソフトウェアに関して発生する問題は、お客様の責任及び費用負担によって処理されるものとしします。
- (2) 弊社は本ソフトウェアおよびその関連印刷物および本ソフトウェアとともに提供されたハードウェアに関して、商業的に有用であること、特定の目的に適合すること等に関し、明示的にも黙示的にも一切の保証をしないものとしします。
- (3) いかなる場合であっても弊社は、お客様が本ソフトウェアを使用することにより生じる商業的利益の逸失、商業の支障その他のいかなる損害について、たとえかかる損害が生じる可能性があることにつき通知を受けていた場合であっても一切の責任を負わないものとしします。

6. 解約

- (1) 本契約の有効期間は、本契約成立時から、本ソフトウェアの使用を停止するまでとしします。
- (2) お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合は、または本ソフトウェアの著作権を侵害した時、弊社は本契約を解除し、お客様の本ソフトウェアのご使用を終了させることができます。

7. その他

- (1) 本契約に関する紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとしします。

第1章 ユーティリティの概要

Logitec ファイルリカバリツール for FD の概要

「Logitec ファイルリカバリツール for FD」は、誤って削除してしまったファイルを復元するためのソフトウェアです。

ハードディスク上のファイルは削除しても「ゴミ箱」に残っていますが、フロッピーディスク上のファイルは削除してしまうと元に戻せなくなってしまいます。

「Logitec ファイルリカバリツール for FD」では、フロッピーディスク上で削除されたファイルの情報を解析し、その情報を元にファイルの復元を試みる事が可能です。



重要 基本的に、ファイルが削除された時点で重要な構成情報は失われています。「Logitec ファイルリカバリツール for FD」では残された情報を元に、可能な限りの復元を行います。全てのファイルを完全に復元することを保障することはできません。削除してしまったファイルをあきらめる前の、補助的なツールとしてご利用ください。

Logitec ファイルリカバリツール for FD の使用環境

対象デバイス

弊社製 USB 接続のフロッピーディスクユニット

対応 OS

Windows Vista Home Basic / Home Premium

Busines / Enterprise

Ultimate

Windows XP Home Edition / Professional

Windows Me

Windows 98 (Second Editrion 含む)

Windows 2000

第 2 章 使用方法について

2 . 1 Logitech ファイルリカバリツール for FD の起動方法

「Logitech ファイルリカバリツール for FD」を起動する前に、USB 接続タイプのフロッピーディスクユニットをパソコンに接続しておいてください。

「Logitech ファイルリカバリツール for FD」は、スタートメニューに登録されています。初期状態の設定でインストール作業を完了している場合、以下の場所から起動します。

「スタート」 「(すべての)プログラム」 「Logitech」 「ファイルリカバリツール」 「Logitech ファイルリカバリツール for FD」

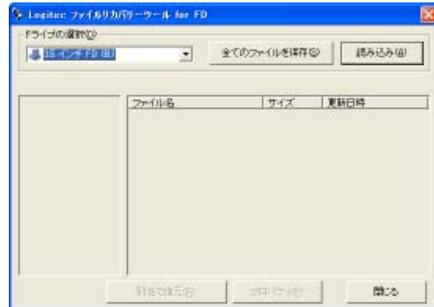
ここをクリックします。



画面は Windows XP のものです。

2.2 削除してしまったファイルを復元する方法

「Logitec ファイルリカバリーツール for FD」を起動すると、以下のダイアログボックスが表示されます。

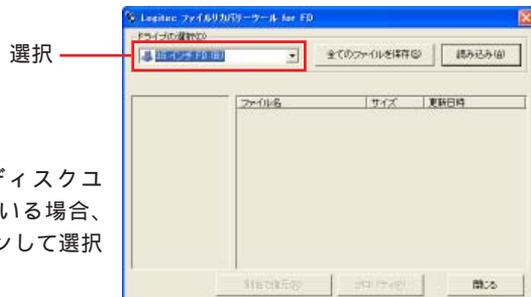


ファイルの復元は、以下の手順で行います。

作業を開始する前に、フロッピーディスクユニットにディスクをセットしておいてください。

(1) フロッピーディスクユニットの選択

対象とするフロッピーディスクユニットを選択します。

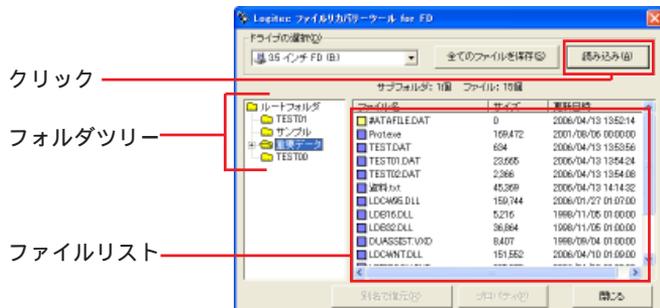


複数のフロッピーディスクユニットが接続されている場合、メニューをプルダウンして選択します。

(2) 「読み込み」ボタンをクリック

対象となるフロッピーディスクユニットにディスクがセットされていることを確認して、「読み込み」ボタンをクリックしてください。

ディスクの情報が読み込まれ、フォルダツリーとファイルリストに反映されます。



Point ポイント

ここで、「エントリサーチに切り替えて、ディレクトリエントリ列挙をやり直しますか?」というメッセージボックスが表示されることがあります。これはルートフォルダにファイルが見つからないことを示しており、通常は論理フォーマット直後の状態です。

ここで「はい」ボタンをクリックしてエントリサーチを実行すると、以前保存されていたサブフォルダを検索して復元しようとしています。



ルートフォルダの内容は完全に削除されてしまっているため、残念ながら復元できません。

詳細については「2.4 エントリサーチについて」をご参照ください。

(3)復元するファイルの選択

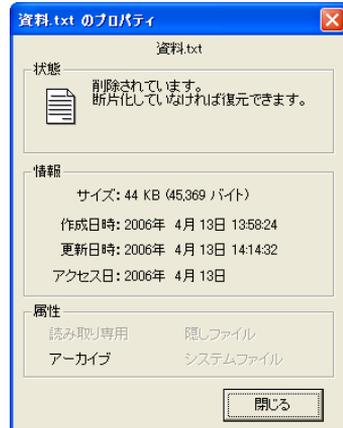
ファイルリストで、復元するファイルを選択します。



ファイルリストでは、ファイル名の左側に状態を示すマークが表示されています。

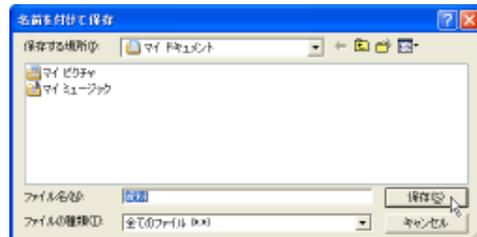
- 青：削除されていないファイルです。
- 黄：削除されていますが、断片化していなければ復元できます。
- 赤：削除されており、一部のデータが失われています。部分的に復元できるかもしれませんが、絶望的です。
- ×
 ×：削除されており、既に別のデータで上書きされています。復元できません。

ファイルを選択した状態で「プロパティ」ボタンをクリックすると、詳細な情報を参照できます。



(4)「別名で復元」ボタンをクリック

復元するファイルを選択したら、「別名で復元」ボタンをクリックします。保存先を指定するダイアログボックスが表示されますので、ここで保存先を指定します。



保存先を指定すると復元作業が開始されます。

(5)結果報告

復元作業が完了すると、結果を報告するメッセージボックスが表示されます。

(6)終了

「閉じる」ボタンをクリックして「Logitech ファイルリカバリーツール for FD」を終了します。

2.3 ディスクに保存されている全てのファイルを別のフォルダに保存する方法

「Logitech ファイルリカバリーツール for FD」では、確実に復元可能なファイルおよびフォルダ構成を、別のフォルダに保存することが可能です。これは、フロッピーディスクのフォーマット情報のみが破損しており、保存されているファイルが読めなくなっている場合に有効な機能です。

「Logitech ファイルリカバリーツール for FD」を起動すると、以下のダイアログボックスが表示されます。



ディスクに保存されている全てのファイルの復元は、以下の手順で行います。

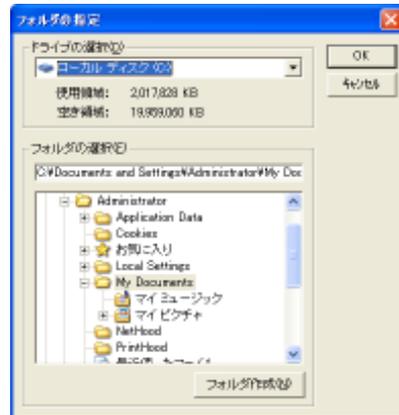
作業を開始する前に、フロッピーディスクユニットにディスクをセットしておいてください。

(1) フロッピーディスクユニットの選択

対象とするフロッピーディスクユニットを選択します。
複数のフロッピーディスクユニットが接続されている場合、メニューをプルダウンして選択します。

(2) 「全てのファイルを保存」ボタンをクリック

対象となるフロッピーディスクユニットにディスクがセットされていることを確認して、「全てのファイルを保存」ボタンをクリックしてください。
ディスクの情報が読み込まれ、フォルダツリーとファイルリストに反映されます。その後、保存先フォルダを指定するためのダイアログボックスが表示されますので、ここで保存先を指定します。



保存先を指定すると保存作業が開始されます。

(3)結果報告

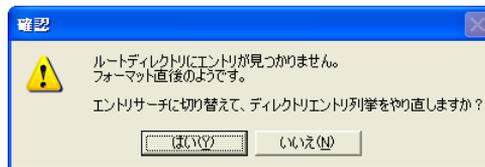
保存作業が完了すると、結果を報告するメッセージボックスが表示されます。

(4)終了

「閉じる」ボタンをクリックして「Logitech ファイルリカバリーツール for FD」を終了します。

2.4 エントリサーチについて

復元対象ディスクのルートフォルダ上にファイルまたはフォルダが一つも検出できなかった場合、「エントリサーチに切り替えて、ディレクトリエントリ列挙をやり直しますか?」というメッセージボックスが表示されます。



この状況は、フォーマット直後の状態やルートフォルダの保存されているセクタに異常がある場合などに発生します。

このメッセージボックスで「はい」をクリックしてエントリサーチをスタートさせると、対象ディスクの全セクタを解析してサブフォルダ情報を検索します。ルートフォルダの情報は完全に削除されているため復元できませんが、いくつかのサブフォルダは検出できるかもしれません。

サブフォルダの名称はルートフォルダに記録されているため復元できません。

このためサブフォルダの名称には識別番号が割り当てられます。

検索結果はフォルダツリーおよびファイルリストに反映されます。 検出されたファイルは「別名で復元」ボタンをクリックすることにより復元を試行できます。

第 3 章 アンインストール

「Logitech ファイルリカバリーツール for FD」をアンインストール（削除）する場合は、以下の手順に従って行ってください。

参考



「アンインストール」は、ある特定のプログラムを Windows のシステムから削除する作業です。

Point

Windows XP,2000 をご使用の場合はアンインストールを行う際、管理者権限をもつユーザ（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」等）としてログオンしている必要があります。

Point

Windows Vista をご使用の場合は管理者アカウントの許可（パスワード）が必要です。

コントロールパネルを開きます。

Windows Vista、Windows XP の場合

「スタート」ボタンをクリックして「コントロールパネル」を選択します。

Windows Me、Windows 98、Windows 2000 の場合

「スタート」ボタンをクリックして「設定」「コントロールパネル」を選択します。

コントロールパネルから作業を選択します。

Windows Vista の場合

「プログラムのアンインストール」をクリックして起動します。

Windows XP の場合

「プログラムの追加と削除」をダブルクリックして起動します。

Windows Me、Windows 98、Windows 2000 の場合

「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックして起動します。

「Logitech ファイルリカバリーツール for FD」を選択して作業を開始します。

Windows Vista の場合

「Logitech ファイルリカバリーツール for FD」を選択して、「アンインストール」をクリックします。

Windows XP の場合

「Logitech ファイルリカバリーツール for FD」を選択して、「変更と削除」ボタンをクリックします。

Windows Me、Windows 98 の場合

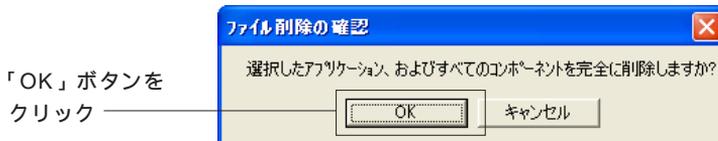
「Logitech ファイルリカバリーツール for FD」を選択して、「追加と削除」ボタンをクリックします。

Windows 2000 の場合

「Logitech ファイルリカバリーツール for FD」を選択して、「変更 / 削除」ボタンをクリックします。

「ファイル削除の確認」メッセージボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックするとアンインストールが実行されます。

Windows Vista では「ユーザーアカウント制御」による確認メッセージが表示されます。



アンインストールが完了すると、以下の画面が表示されます。「完了」をクリックして終了してください。



以上でアンインストールは完了です。

お問い合わせについて

本ソフトウェアに対する技術的な質問や、オンラインマニュアルに対するお問い合わせは弊社「テクニカルサポート」までお願いします。FAXにてお問い合わせの場合は、お客様のご連絡先を必ずご記入ください。

弊社テクニカルサポート連絡先（ナビダイヤル）

TEL. 0570-022-022

FAX. 0570-033-034

受付時間：

9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 18:00

月曜日～金曜日（祝祭日、夏期、年未年始特定休業日を除く）

携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX 共）、IP 電話（TEL、FAX 共）、ひかり（光）電話はご利用になれません。



Logitech ファイルリカバリツール for FD

ユーザーズマニュアル（オンラインマニュアル）

2006年 12月初版 LFIRECOV_USERS_GUIDE.PDF V02

製造元：ロジテック株式会社
